

ONE FOR ALL ALL FOR ONE

生活指導通信 第8号 令和4年1月7日(金)

校則変更点の確認です。

太字・下線となっているところが変更点です。3学期は移行期間(通学靴は除く)とし、新たな課題点等が見つければ再検討します。一人ひとりが大蔵中学校の生徒として、校則の意義について理解し、自主的に守れるよう意識しましょう!

校則とは

- 生徒の安心・安全を守るため
- 校内の規律を守るため
- 平等を守るため(外国籍、LGBTQ+など社会的マイノリティ、家庭の差等)
- 社会規範意識を高めるため(社会のルール、社会一般に広く受け入れられるマナー等)にあります。

1 登下校時刻

(1)登校時刻

- ・8:15には教室に入り、8:20から朝の全校読書を始める。
- ・8:15の予鈴を教室で聴くことができるように登校時刻の確認をする。
- ・朝の全校読書(読書タイム)では、各自で本を持参する。文庫本など読み物を用意する。

(2)下校時刻

- ・部活動等放課後の活動がない一般生徒 年間通じて16:30までに校門を通過する。
- ・部活動等放課後の活動がある生徒(完全下校)
4月～8月 18:30までに校門を通過する。 3月 18:15までに校門を通過する。
9月・2月 18:00までに校門を通過する。 10月・11月・1月 17:30までに校門を通過する。
12月 17:15までに校門を通過する。

(3)欠席連絡

保護者に学校へ電話連絡をしてもらう。(8:05までに)

(4)遅刻対応(8:20以降)

登校したら、職員室へ登校したことを知らせ、遅刻カードを受け取ってから教室へ行く。

(5)早退対応

早退する場合は、担任の先生や学年の先生、保健の先生に伝え、保護者に連絡をしてもらってから帰宅する。帰宅後は学校へ連絡をする。

2 通学

- (1)自宅から幹線通学路に出て通学する。(道路横断は、信号機や横断歩道のある場所で行う)

- (2)県道366号線については、人丸小学校前の道は、登校時には東側を中学生が、西側を小学生が使用する。小学校のグラウンドは通らない。
- (3)自転車、バス通学は原則として禁止する。
- (4)身だしなみをしっかりして家を出るよう確認する。
- (5)登下校時は交通ルール・マナーをしっかり守り、地域の方の迷惑となることはしない。

3 学校生活

(1)授業

- ・チャイムが鳴る前に授業の準備(忘れ物をしない)をして着席する。
- ・授業の始まりと終わりの礼はしっかり行う。
- ・先生や他生徒の話をよく聴き、集中して授業をうける。
- ・自分の意見を積極的に発信し、仲間と共に学びを深める。
- ・授業を妨害したり、授業に関係のないことをしたりなど、自分勝手な行動はしない。

(2)休み時間

- ・休み時間中に次の授業の準備をする。授業に遅れず、時間を見て行動する。
- ・他クラスの教室には入ってはいけません。

(3)給食

- ・給食当番はすぐに配膳を行う。当番以外の生徒は配膳がスムーズに行われるよう、自席で待っておく。
- ・家庭から、箸とマスクを持参する。
- ・給食着を週末に持って帰る。家庭で洗濯をして持ってくる。

(4)清掃

- ・決められた場所で、自らの役割に責任をもって清掃する。

(5)全般

- ・学級、学年、クラブの仲間や先生方、事務員さん、用務員さん、給食員さん、来客の方など、気持ちよくあいさつをする。
- ・無断で校外に出ない。
- ・校舎内で走り回ったり、暴れたりなど、他生徒の迷惑となることはしない。
- ・身の周りの整理整頓をきちんとする。
 - ・学校の共用物は大切に使う。破損等があればすぐに先生に報告をする。
 - ・暴力や暴言など人を傷つける行為、いじめは絶対にしない。周りでそのようなことがあれば必ず先生に相談する。
 - ・お互いに人格を尊重し、丁寧な言葉遣いを心がける。

4 所持品

- (1)学校生活に不必要な物は持ってこない。(特別な事情で持ち込みが必要な場合は担任に相談する)
- (2)飲み物は水、お茶、スポーツドリンクとする。ペットボトルでもよいが、SDGsの観点からできるだけ水筒を使う。なお衛生面や管理をきちんとする。

- (3)携帯電話、化粧品、菓子類、危険な物などは絶対に持ってこない。
- (4)不必要な物を持って来た場合は、いったん学校で預かり、保護者の方に取りに来てもらう。
- (5)お金は必要な時以外は持ってこない。

行事や部活で必要な場合、登校後にすぐに担当の先生に提出する。

5 服 装

【男 子】

- ・学生服は黒色詰め襟を着用。カラー装着タイプであればカラーを付ける。大蔵中のボタンを使用する。
- ・学生ズボンは、裾をダブルにする。腰パンなどだらしないはき方をしない。標準タイプのズボンを着用。変形ズボンは着用しない。
- ・学生服の下は白色無地長袖のカッターシャツを着用する。裾を出すなどだらしく着ない。

【女 子】

- ・冬服としてブレザーを着用。冬服と合服のときには、ベストとスカートまたはスラックスを使用する。
- ・夏用は吊りスカートまたはスラックスを使用する。
- ・スカートは膝が隠れる程度の長さで、ひざ裏よりも短くなったら裾の長さを調節する。



【男子】夏服・冬服

【女子】夏服・合服・冬服
(スカートの場合)

合服・冬服
(スラックスの場合)

【男女共通事項】

(1)肌 着

・白、黒、紺、グレー、ベージュなど、シャツの下から透けない色で無地のもの。シャツから大きくはみ出さないように着こなす

(2)くつ、はきもの、帽子

<通学靴> 下駄箱に入る大きさで運動に適したもの(あまり高価なものは使用しない)。

<上 靴> 指定品を使用。

<体育館シューズ> 体育館では、指定した体育館シューズを使用。(※指定業者……タツミスポーツ)

・靴は外靴・上靴ともかかとを踏まない。

・靴下は白、黒、紺、グレーとし、華美でないもの。ただし、儀式(入学式・卒業式・その他式典)では白の靴下を着用すること。だらしないはき方をしない。

・帽子は白を基調としたキャップ型のものを着用する。学校でも購入することができます。

(3)体操服(指定業者……タツミスポーツ)

・男女とも、半そでシャツ、ハーフパンツにトレシャツ長袖、トレパンを着用する。

(4)通学カバン

- ・色や柄、形状に関する規則は設けませんが、「派手すぎず、学校生活にふさわしいもの」であること。
- ・教室ロッカー(高さ30cm×幅35cm×奥行40cm)に入る、教科書が十分に入るサイズ。

- ・キャリーバッグ・ボディバッグ・ポシェット・紙袋・高価なブランドバッグを使用しない。
- ・キーホルダーや缶バッジ等のアクセサリはつけない。ただし、お守りはつけてもよい。
- (5)名札、学年学級章は入学後に配布する。決められた位置に正しく着ける。
- (6)頭髪など

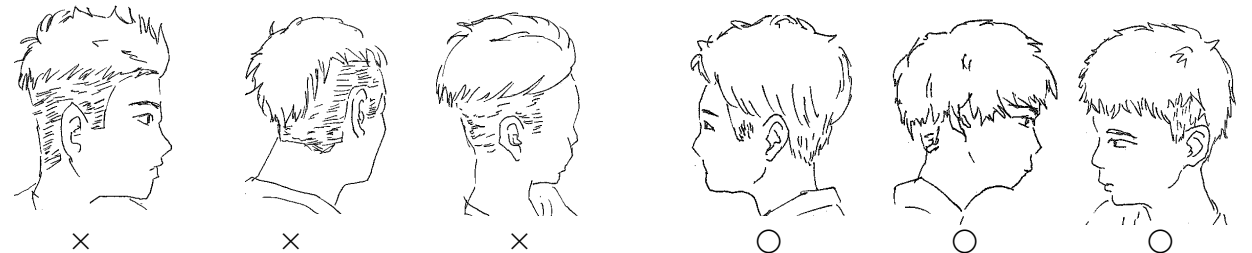
・パーマ、染髪・脱色をしない。整髪料(ムース・ジェル・ワックスなど)は使用しない。

・学習の妨げにならないよう、各自の判断でくる。給食や実技、実習などは衛生面や安全面から必ずくる。髪をくる場合は、正面から見て大きくシルエットが変わらないようにする。その場合、黒、紺、茶の髪ゴムを使用する。

・ピンは細いもので黒色を使い、大きなもの派手なものは使用しない。運動時や髪質に応じてパッチンピンを使用してもよいが、ヘアアクセサリにならないよう大きすぎず、黒色のものを使用する。

・極端なツープロックやアシンメトリー、モヒカン、ライン入りにはしない(イラスト参照)

【イラスト】



・眉毛は剃らない、抜かない(整える程度であれば可)。

・化粧や香水、ネイル(マニキュア・ペティキュア等)、アクセサリ(ネックレス、ピアス、ミサンガなど)は使用しない。

(7)熱中症対応

・制汗シートは無臭のものに限り使用してもよい。ゴミの処理をしっかりとする。

・制汗スプレーはガス吸引により体調不良者がでる恐れがあるため使用しない。

・塩分タブレットは土日の部活動は持ってきてよい。ゴミ処理をしっかりとする。

平日でも特別な事情があり服用しなければならない場合は担任の先生に相談する。

(8)防寒具

・セーター、カーディガンは黒、紺のみで無地のものを使用する。裾や袖から大きくはみ出さないように着る。校内ではセーター、カーディガンのみで過ごしてもよいが、名札の付け替えをすること。登下校時や儀式等では制服を着用すること。

・防寒用として厚手であれば黒または肌色タイツ・スパッツの着用をしてもよい。タイツの場合は、靴下を着用しなくてもよいが、体操服を着て活動する時には靴下を着用する。

・手袋・マフラー・ネックウォーマーは華美でなく、機能性のあるものを着用する。登校時の教室に入るまで、SHR・掃除後の下校時であれば校舎内での着用をしてもよい。職員室入室の時は脱ぐ。その他の目的で校舎内での着用はしない。管理をしっかりとする。

・ウィンドブレーカーは学校(部活動)で購入したものを使用する。登校時の教室に入るまで、SHR・掃除後の下校時であれば校舎内での着用をしてもよい。職員室入室の時は脱ぐ。その他の目的で校舎内での着用はしない。集会や講演会時の着用をしてもよい。〇〇式の時は着用しない。ただし体調に応じて要相談。

・ひざ掛け・座布団は華美でないものを使用する。授業中と集会、講演会時は使用してもよい。ひざ掛けは、マフラーやウィンドブレーカーで代用してもよい。

・カイロ(貼るタイプを含む)を使用してもよい。投げる、蹴る、中身をばらまくなど、マナー面に注意をする。ゴミ箱に捨てず、各自で持ち帰る。